

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 山形コロニー シード天童はが		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 12 月 29 日		～ 令和 8 年 1 月 16 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和 8 年 1 月 16 日		～ 令和 8 年 1 月 23 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 1 月 31 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多機能型事業所となり、未就学期から就学期(低学年)を継続して支援できる。	・お子さんの成長や発達段階に合わせた支援内容を計画し実践、また検討する流れを意識している。 ・当日の役割分担、送迎担当について全体の動きがわかるように努めている。	・成長に伴い、療育から希望する地域の活動(学童等)へ段階的に移行を果たせるよう、保護者の子育てを応援したい。
2	未就学期→就学期(低学年)→就学期(中学年以上)と天童市内で繋がりのある療育活動を展開できる。	・お子さんが将来の自律に向けて、今からスモールステップを踏んで進めていけるような療育の取組みに努めている。	・利用されている家庭や学校等との関係構築、相談援助等を高め、求められている療育ニーズに気付いていきたい。
3	・地域の療育ニーズや利用希望に応えるため、受け入れ可能最大数の受け入れに努めている。	・地域の療育事業所として、安心して利用・相談いただけるよう、利用して下さっている家庭とのやりとり、関係機関との連携に努めている。	・就学期～将来の就労や社会活動に向けて、多様な視点をもっていけるよう研修等に取組みたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・活動スペースは十分にとれるようになったため、環境(人員、社会資源、備品等)を適切に動かしていけるようにしたい。	・地域の療育ニーズを知る機会が不足しているため、その機会をもち、具体的に検討をしたい。	・日々のミーティング等を通して質の高い療育を提供できるよう職員全員で努めたい。 ・保護者や地域の療育ニーズをのアセスメントを進めたい。
2	・通所されている方、通所を検討している方への情報発信を始めたい。	・年間予定や活動状況等の取組みが見えづらい。 ・療育活動中のお子さんとの関わり等を、保護者の皆さんと共有が不足しているため、活動を見ていただく等をしたい。	・お子さんの活動状況や、事業所として目指していきたい目標等を分かりやすく共有できるよう工夫したい。 ・当事業所の特色等が伝わりやすいツールを検討したい。
3	・関係機関との連携のための時間や手立てを計画し検討したい。	・学校や他事業所、市町村等との連携をする機会が限られているため、広げていけるように検討したい。	・連携機会等のスケジュール管理や定例化の検討、訪問月等を見える化する等、具体的な工夫を進めたい。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス 山形コロニー シード天童はが	公表日	令和 8年 2月 9日
------	---------------------------	-----	-------------

	チェック項目	評価	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	・令和7年8月1日より、天童市芳賀タウン南にて開設いたしました。活動場所が高揃と2拠点になり、児童の活動スペースを保ち、個々の児童に適した活動ができるようになっています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	△	・当事業所は、多機能型事業所として適切な人員配置をしています。	・適切な人員配置を行っていますが、活動場所や活動内容等によって人員の配置を都度検討しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	・当事業所は、療育環境としての安心・安全と分かりやすい環境を考え『構造化された施設』として運営しています。また、地域の障害のある方や高齢の方等、どなたでも来所しやすいようバリアフリーの環境となっています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○	・施設内は1年を通して常時換気、遊具等は清掃・消毒等を毎日行っています。	・建物の経年劣化による改修は都度検討し進めております。清潔を保っていきけるよう気付いたことは声をかけあい、整えていきたいと思ひます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○	・お子さんの状況等に応じて使用できるよう、個別で対応できる個室を備えています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	△	・毎日、限られた時間内ではありますが朝と夕のミーティングを行っています。支援内容の振り返りや共有等を行い、今後の活動へ反映できるよう取組んでいます。	・PDCAの意識を全体で再度確認、共有し、伝達方等を都度検討し取組みを継続して参ります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	・保護者向けアンケート結果の評価・ご意見を参考にしながら、より良いサービスに努めます。	・保護者の方々からの意見を通して、私たちが気付けなくなっていることを再認識をしたり、意見についても学ぶことが多くあります。今後も保護者の方々々と相談をしながら一緒に良い事業所づくりに努めていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	△	・今年度も職員研修を行う時間を定期的にもち、その中で意見や考えを聴く機会を設けてきました。	・業務全般について様々な意見を聴き、共通理解を広げていけるよう改善に努めています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	・法人全体では、適切な事業所運営のために積極的に外部からの訪問や見学等を受け入れております。多機能型開設にあたり、山形県のご指導や意見交換をしております。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	△	・法人全体研修や内・外部での研修を実施し、専門性向上を図れるよう努めています。	・研修内容が普段の支援にどのように繋がり活かされるのか振り返り等も含め取組んで参ります。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○	・多機能型開設に合わせてプログラムの公表を当法人のホームページで公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	△	・現状の成長段階等を確認し、達成できる目標を計画するよう努めています。今後も保護者やお子さんの環境や状況を把握し寄り添いながら、具体性をもって実践できるよう取組んでまいります。	・お子さんの成長段階、保護者のニーズ等、様々な視点に立ち、実践できるよう進めてまいります。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	△	・ミーティングや研修などを通して、職員の意見等を聴いたり、確認するよう努めています。支援の『共通理解』に繋げたり、深めていけるよう今後も意見交換や当事業所の思い等を伝達していけるよう進めています。	

14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	△	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿った内容であるかを都度確認し支援を行っています。 ・日々の療育活動で「計画に沿った」視点や遊びの展開をどのように進めていけるか都度検討しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に対しての関わり等をお子さんや保護者の皆さんと共有して進めていけるよう努めて参ります。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・遠城寺式発達検査表等を用い、客観的評価で現状の段階や発達課題を確認できるよう努めています。アセスメントの必要性や視点を今後より深めていけるよう取り組んでいます。 	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所では、これらの項目が全児童の個別支援計画にもれなく位置づけられています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書に沿って『共通理解・共有』を全職員で進め、適切なサービス提供へ繋いでいけるよう進めて参ります。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の課題や発達段階に応じ、活動プログラムを日々工夫しながら設定しています。 ・将来を見据え、生活スキルを高める機会や、社会性やコミュニケーション能力を広げる経験を提供し、一緒に挑戦しながら確認をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通所時の「楽しい」「また行きたい」と思える時間をどのように提供できるか日々試行錯誤ではありますが、全体で進めていけるよう努めています。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・活動予定や流れの大枠は定め、運動機能向上や身辺自立、社会性、コミュニケーション等の機会を提供できるよう同じ活動でも遊び方を工夫し、お子さんの興味・関心を広げていけるよう関わっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの発達や成長状況、支援員間での遊びの立案等を検討していけるよう努めています。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の現状や課題を整理し、個別活動やグループ活動、全体活動を組み合わせ、目的をもって計画を作成しています。 	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・『支援予定表』を使用し、限られた時間内ではありますが、職員同士が連携して検討や確認が進められるよう努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況や役割、事業所としての1日の動きや対応（見学等）を具体的に伝達・記載し共有するよう努めています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	△	<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後に、毎日振り返りや確認を行っています。活動状況や環境の設定等を確認し、次回の対応について検討し、反映するよう努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた時間内で全体運営等のことも含め共有等を行っています。紙面上や打合せで共通理解をもって望めるよう都度見直しをして参ります。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	△	<ul style="list-style-type: none"> ・制度改正において、より一層記録等の業務を求められているため、記載する内容等について確認・伝達等を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録の必要性や求められている記録の内容、適切な記入、記入後の改善等について職員一人ひとりが考え全体で進めていけるよう努めて参ります。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の活動時や、帰りの対応時、または面談設定等で、保護者から話を伺う機会をもっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への声掛けや関係機関とも適時連絡や連携を取り合い、継続して活動を応援していけるよう努めてまいります。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインを意識し、活動内容の年間計画を策定しています。生きる力の育成と「できた」「わかった」という成功体験を積んで、自分らしく生きるために生活スキルの向上を目指します。社会の中で必要なルール学習を軸に、たくさんの体験の機会を提供できるように努めます。 	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の活動の中で、どんな遊びをどのようにするか子どもたちと相談し進めています。自分で「やりたい!」と思ったことを周囲の仲間にも伝える機会も同時にもち、一緒に活動する際のコミュニケーション学習を積んでいます。 	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・主に児童発達支援管理責任者が参加しています。 ・参加する際には支援員等から活動時の様子や発達状況等を確認し参加するようにしています。今後もその点を継続し参加できるよう努めてまいります。 	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・主に児童発達支援管理責任者が参加しています。 ・外部連携時には、事前に支援員等と情報共有するよう努め、状況の確認を行っています。今後は訪問等で直接見る機会を設定し、継続した連携が行われていくよう努めてまいります。 	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・年間予定表や月間予定表、時間割表等は保護者経由でいただいております。また、急な変更や時間の変更などは、保護者の方と予定の確認を行っております。学校との情報共有は、十分な連携・協力体制の構築半ばです。今後も学校側の理解を高め、信頼関係の下で連携を図るための努力を続けていきます。 ・連絡調整等を行えるよう、緊急連絡先の把握を進めております。 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や相談事業所と連携しながら、就学前に利用していた事業所と支援の内容を確認し、情報交換を行っています。 	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・当法人は、就労支援が主たる事業ですので、将来の就労を見据えた繋がりのある療育を行っています。 ・当事業所では学校を卒業する年代を対象としておりませんが、これまで卒業後に障害福祉サービス事業所を利用する場合は、関係者によるサービス担当者会議を開催し、これまでの支援内容の情報提供をしています。また、一般就労に繋がった児童に対しても学校や障害者就業・生活支援センターの要請に応じて担当者会議に出席し、事業所での活動や生活状況について情報提供を行っています。卒業後、障害福祉サービスの利用など進路選択の機会として施設見学や体験なども実施しています。 	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	△	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の児童発達支援センターから助言を受けることや連携が図られることはありません。 ・地域で行われる各種研修には参加しています。 	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	△	<ul style="list-style-type: none"> ・併用して利用されている児童もおりますが、連携はまだ十分には取れていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブへの連絡や訪問等を通して交流する機会をもっていけるよう努めてまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	△	<ul style="list-style-type: none"> ・天童市の自立支援協議会は、専門部会として相談支援部会が立ち上がっています。児童発達支援・放課後等デイサービス事業所は連絡会として天童市の事業所が集まる機会があります。今後、どのように参加していくか検討してまいります。 	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳もありますが、帰宅時のようにできるだけ対面して話をし、保護者の方に活動の様子をお知らせし、家庭や学校での取り組みや課題についての把握にも努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動状況の伝え方等には工夫をし、家庭と繋がっていけるよう全職員で努めて参ります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	△	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の通所時から、お子さん・保護者との信頼関係を築くことから始めるよう努めています。関係が構築できることで、関わり方や声のかけかた、褒めて関わること等を共有しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員がお手本となれるよう、ペアレントトレーニングの土台を再度確認し、今後も学んでいきたいと思っております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・利用契約の際に説明しています。運営規定、重要事項説明書等に変更がある場合、随時説明し、同意をいただいております。 ・職員自身も制度等について知り、理解を深めて参ります。 	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・通所時やモニタリング等で確認を進めています。家庭や学校での様子、主治医等からのアドバイス等を確認し、療育活動での計画作成に繋げていけるよう努めています。 		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者が保護者や、職員等と確認したことを集約した計画書を作成し、保護者から同意を得ています。お子さんの発達段階や現状を鑑みて説明を行い、共有し活動へ繋げています。 		
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達のこと、学校での課題や将来のこと等、希望や不安の相談に応じ、必要な情報提供や助言を行っています。 ・今後の進級等での心配事など保護者に寄り添い相談できる体制を構築してまいります。 		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、兄弟同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	△	・親子で参加できる通所日の設定はしておりますが、今後保護者同士で交流できる機会を検討してまいります。	・保護者の活動に対しての意向を知っていただけるよう考えてまいります。 ・面談等できょうだい間について相談をしております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	・ご要望や苦情の受付体制は契約時に説明しています。また、掲示や直接受付の実施予定を連絡網でご案内しています。今年度も第三者委員の直接受付を2回開催しました。 ・今後ご意見等を言いやすい雰囲気や環境作りの整備を行って参ります。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	△	・長期休暇等では連絡網を活用した発信を行っていません。	・SNS全盛期ではありますが、発信方法をどのようにすると良いか検討を重ねております。活動での『実体験』を重ねていただけるよう機会を設けたいと思います。 ・おたよりでの発信、活用も進めていただけるよう努めます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・個人情報、保護規定に沿って管理しています。契約時に書面を取り交わすことを継続しております。今後も個人情報を取り扱う意識を向上していただけるよう、声をかけあい、職員教育にも取り組んでいます。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	・活動を共にし、個々に合った伝達方法を都度検討して関わっています。視覚的に分かるツール等を検討・活用し、お子さんが「わかる」「伝わっている」と感じ、周囲と繋がりをもてるよう支援しています。	・意思疎通や伝達は表情や行動、言葉等、お子さんによって様々です。色々な思いを受止めながら思いの発信や受信に繋げていけるよう努めています。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	・今年の地域交流会では近隣の方にも多くご参加・ご協力いただき開催いたしました。 ・継続して地域の子育てサロンへ参加し交流を続けています。	・今後も地域の方々の必要に応じて施設を使っただけのよう繋がりをもち活動して参ります。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	△	・感染症や緊急時等のマニュアルを作成し、現状に合わせて都度修正や整備を進めています。 ・活動時に子どもたちとも訓練を行っていただけるよう準備をしております。	・訓練の内容等については、今後も整備をし、検討を重ねていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	△	・必要なマニュアルについては、法人で策定し、業務上徹底した管理に努めています。安全を配慮した訓練を実施していただけるよう努めてまいります。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	・利用開始前のアセスメントで、児童の健康面、生活面について状況を確認しています。 ・怪我等がある際には保護者へ状況等を合わせて伝え、確認・共有をしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	・食物アレルギーの有無等については、利用開始時に必ず確認しています。個々の実情に基づいた確認を行い提供しています。おやつ等の提供時もリスク管理を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	・安全計画を作成し、必要な訓練（避難訓練等）や研修（熱中症対策、感染症等）を行っています。 ・安全・安心な環境を整備し、維持・継続を今後もしていただけるよう、適時見直ししながら、計画を進めています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	△	・継続した感染症対策（検温、消毒、マスク着用）等で保護者の皆様にはご協力をいただいております。 ・移動時には並ぶ、手をつないで歩行する等、日々の活動時にも安全面について確認をしています。	・家族等への周知、連携がより図られるよう検討を重ねてまいります。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	・ヒヤリハット等は、職員間で毎日チェックと共有を行っています。環境設定や関わりを検討し次回に繋げていけるよう調整しています。安全管理の視点や遊び方等を今後も気付きや学びをもっていけるよう継続して行っております。		
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	・県主催の研修に法人内から毎年参加しております。また年1回以上は全職員に法人内外で研修する機会をもっています。日々のミーティングでも全体で気付きを共有するよう努め、早期発見・虐待防止の視点を醸成するよう取り組んで参ります。		

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○ <ul style="list-style-type: none">・これまでも、強度行動障害児等、活動に安全管理等が必要なケースは具体的な対応等を計画に入れ、内容を説明し同意を取っています。そういった対応に繋がらない支援が前提ですが、やむを得ず対応を要する時は、必要最小限の対応と支援内容の記録等を行える体制の整備を確認しています。・身体拘束がどのようなことなのか、普段の活動でどのように意識するといったのか等、基本に立ち返り職員一人ひとりが学びを進めていけるよう努めていきたいと思えます。	
--	----	--	---	--

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス 山形コロニー シード天童はが

公表日 令和 8 年 2 月 9日

利用児童数

16

回収数

11名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	10			1		・芳賀移転後は館内の多目的ホールや庭、近隣の公園等を利用し、適切なスペースを確保しています。	
	2	6	3		2		・職員は適切に配置しています。未就学期から就学まで繋がりをもって今後も対応していけるよう努めます。	
	3	11						
	4	11						
適切 な 支 援 の 提 供	5	10	1				・特性等について、専門性を深めていけるよう研修を行っていますが、十分ではないため、今後も学ぶ機会をもっていきます。	
	6	11						
	7	9	2				・対話や相談を続けて、子どもと保護者のニーズに気付いたり共有し、療育の場で必要な支援に反映させていけるよう努めます。	
	8	10			1			
	9	11						
	10	10				1		・活動プログラムによっては繰り返し行うことで「わかる」「できる」に繋げていけるよう関わっています。
	11	5	2	1	3		・近隣の公園や散歩道等で挨拶をしたり、場所を共有しています。 ・学童等との連携を通して交流のありかたを検討してまいります。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	10	1					
	13	11						
	14	8		1	2		・活動中にペアレントトレーニングを行い、保護者と共有しています。 ・玄関の掲示板等を活用し情報提供の機会を今後もっていけるようにします。	
	15	10	1				・送迎時には学校と、帰宅時には保護者と活動内容や様子を共有するよう努めています。実際に見てもらったり、共に活動する機会を今後検討していきます。	
	16	11						
	17	11						
	18	6			5		・主に土曜開所で保護者も参加できるよう設定しています。 ・兄弟向けは開催しておりませんが、帰宅時に声かけ等の対応をしております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10			1		・相談等については対応しておりますが、スピード感をもって進めていけるよう努めます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1		2		・予定表で今後の開設予定等はお知らせしております。 ・ブログ更新やおたより等での発信を強化していきたいと思えます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11					
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1				・子どもたちが放課後に「楽しい」「ホッとする」場になっていけるよう努め、成長に伴った変化に対応した療育を進めていけるよう邁進してまいります。